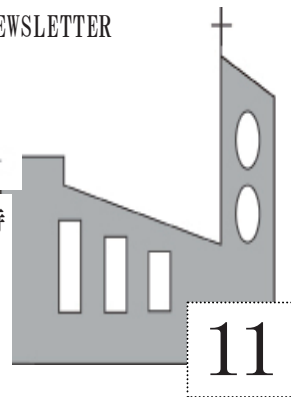


カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOUMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER



〔ミサ時間〕 主日：7時・9時30分／ベトナム語（第2・第4日曜日）：13時半／英語：16時
 〔ホームページ〕 <http://www.daimyomachi-c.or.jp/>
 〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ（土）18時
 TEL：092-741-3687 Fax:741-5107 〒819-0012 西区能古弁当 1621-12
 発行責任者：中村 彰 神父

11月 死者の月

福岡教区年間目標：互いに支え合う「交わりの教会」となる

大名町教会年間テーマ：互いに支え合う「交わりの教会」となる

Becoming a "Church of communion" and mutual support

11月のおしらせ

◆一日黙想会

「祈りと分かち合いのひととき」：
23日(土) 10時～16時

講師 中井 淳 神父 (イエズス会)
場所 大濠カトリック会館
主催 教区社会福音化委員会「正義と平和・人権」部門

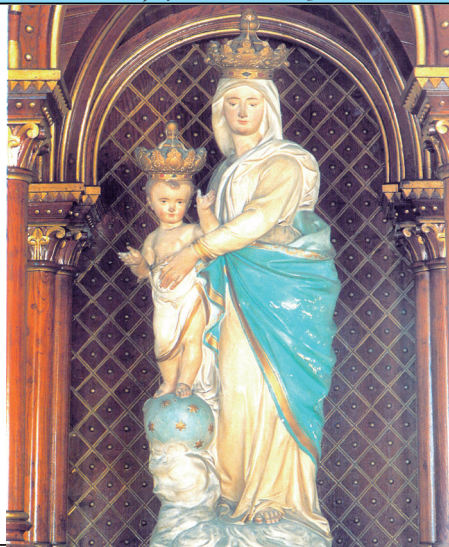
◆福岡地区研修会：24日(日) 14時～16時

講師 アベイヤ司教講演「共に歩む教会のあり方」

場所 旧福岡カトリック神学院
主催 福岡地区司祭団

◆市民クリスマス会事前合同祈禱会；

25日(月) 16時



◆諸聖人の祝日：1日(金)

◆死者の日：2日(土)

◆ふれあいの会：3日(日・文化の日)
ミサ後

◆駐車場委員会の報告：3日(日・文化の日)
10時45分

◆教区青年大会：4日(月・振替休日)
10時～16時

於 旧福岡カトリック神学院

◆シノドスの実践Ⅱ
「共に歩む教会」の集い：

10日(日) 10時50分

◆死者の月 和田墓地ミサ：
10日(日) 14時

◆七五三祝別式(ミサの中で)：
17日(日) 9時30分

★中村彰神父：*キリスト教入門講座
10時 19時

聖書学習会

★チュエン神父：聖書のわかちあい
14時

ゆるしの秘跡：希望される方は、司祭に直接ご相談ください。(定期：毎週土曜日10時～11時半)

11月についておもいうこと



冷え込む気候は冬の訪れを告げるさざしです。人々の心は静まり、体は風を避けるために服を必要とします。このような風景は、亡くなった人々のために祈るのにとっても適しています。亡き人々を思い起こすだけでなく、人生の儚さを思索し、意味のある生き方を模索する機会でもあります。

ヘブライ人の手紙には「人間にはただ一度死ぬことと、その後には裁きを受けることが定まっている」(ヘブライ9:27)と書かれています。人間はただ一度死ぬ。これは明白なことです。しかし、手紙は続けて、死後に「裁きがある」と述べています。これは私たちが考えるべきことです。もし死が全ての終わりであるならば、私たちはこの人生を享受し、世のすべてを楽しむために時間を使うことができます。

しかし、死後には裁きが待っています。神は公平に報いを与えます。聖書は、裁きの基準は持ち物ではなく、生き方と態度に基づいていると教えています。「わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれた」(マタイ25:35-36)。

これらの言葉は私たちに道を示し、現世でも裁きの日にも光となります。

11月、私たちは神の言葉と教会の交わりの中で、亡くなった人々のために善行と犠牲を捧げて祈ります。同時に、それは私たち自身の来たるべき人生に備える方法でもあります。

大名町教会協力司祭
洗礼者聖ヨハネ ファムバン チュエン 神父

女性の会主催 黙想会



10月18日(金)に大濠カトリック会館でアベイヤ司教様の指導のもと、「信仰の神秘・ミサを生きる」というテーマで一日黙想会を行いました。司教様が用意されたレジュメを参考に「ミサに参加する時に、特に何を大事にしているか」「ミサのどのような部分に入りやすいか」「ミサは、どのように自分の生活を支えているか」等を振り返り参加者35名がグループに分かれて分かち合いをしました。司教様は講話の中で、初代教会の時から「感謝の祭儀」はキリスト者一人ひとりの生活を支えてきたこと、イエスはご自分の死と復活の記念を行うために集まっている人々を活かし続けられていることを語られました。個人黙想の後、「ミサの賜物をより深く味わうためにどんな工夫が考えられるか」などについて分かち合い、自由に語り合い、全体会で発表し、司教様の講話を交えてミサへの思いを深めることができました。「キリストの記念を行う私たちは、キリストの記念を証しなければならぬ」という言葉が響きました。

マルグリット・マリイ 鈴木尚美

シノドスの実践Ⅱ 「共に歩む教会」の集い

10月27日(日)、実践Ⅱの2回目を実施しました。参加者41名中、初めての方が4名。祈り、聖歌を歌い、みことば「ルカ24・25、31」を聴き、レナト神父様の講話。レナト神父様は、二人の弟子が歩いているとイエス様も一緒に歩いて行かれた。私たちはキリストと出会っているか、自分の中にどのくらい占めているか、キリスト教は体験することと話されました。分かち合いの後「地域のサークルに入っているが、分かち合いがない。ここではいろいろな人の話が聞け、自分の思っていることも聞いてもらえるよこびがある」



「常にみことばをもつて、さらに深くなりたい」などの感想がありました。第3回は11月10日「踏み出す足」です。3回目もぜひご参加ください。

教皇さまはそれまでの世界代表司教の会議だったシノドスを全信徒に開きました。大名町教会も宣教司牧評議会宣教部が主催し、教区の信徒養成部門のレナト神父様と委員の安藤智子さん(西新教会信徒)の同伴で開催しています。

「ふれあいの集い」で「カタラント」の紹介

10月6日の「ふれあいの集い」で、今年4月にオープンした福岡教区青年センター「カタラント」の活動報告をしました。「カタラント」の名前の由来の紹介、普段の様子、オープン記念ミサ、パーティ、食事会、タリタカム日本の方を招いての勉強会、ウルスラ会のシスター水田による能登半島地震のボランティア報告会を行ったことが主な内容です。28名の方が参加してくださいました。「どう支援したらいいですか?」という声があり、嬉しく、励みになりました。



今後WYD等もあるのですが、お力添えをお願いすることもありますが、もしかしたらかもしれません。「話を聞けてよかったです!」「協力するから言うてね!」と心強い言葉もたくさんいただきました。「カタラント」は、そこに行けば、仲間がいて、青年の居場所になることを目指しています。ここで力をつけ、それぞれの小教区や教区の一員として出向いていけるよう、今後も頑張っていきます。

ミカエラ 荒牧 結花

心のふるさと 日本を語る

10月6日(日)に、大名町教会で、福岡地区信徒使徒職協議会主催の「心のふるさと 日本を語る」というテーマで、ユステイナ・ペロニカ・カシヤさんの講演がありました。カシヤさんは西南学院大学教授で大名町教会の信徒です。

カシヤさんは、ヨハネパウロ2世、コルベ神父様と同じポーランド出身。敬虔なカトリックの家庭に生まれ、2歳の時、父の仕事で札幌に來日、七・五・三の時の着物の写真などを紹介されました。帰国後の学校生活、母国語、英語、フランス語を学ぶ上で、多くの人との交わり、そして文学との交わりを話されました。遠藤周作作品との出会いや教育者としての話も大変興味深く、熱のある講演に、次回もお願いしたいとの要望がありました。遠藤周作の作品について、多くの質問、感想がありました。司祭、修道者、周作クラブ、一般の方、他宗派の方など約150人の参加で、楽しみにされていた講演だったことがうかがわれました。

日本を愛し、日本永住権も取得されたとのこと。学生たちにキリスト者として、愛の福音の種を蒔いておられるカシヤさんです。福岡地区信徒使徒職協議会 フランシスコ ザベリオ 濱崎公夫

秋のランチ会

なかなか秋を感じることが出来ないような気候の折、10月26日(土)に「秋のランチ会」を開催しました。



「皆で集まって楽しくお喋りしましょう」と、集まることを目的とし、外国籍の方々にも声を掛けました。仕事で参加出来なかった方々も多く、参加者は多くなかったものの、どのテーブルも

会話が弾み、有意義な時間を過ごすことが出来ました。参加者からは、顔は見掛けたことがあっても、話したことがない方とお喋り出来て嬉しかったと感想を頂き、実施して良かったと思われました。

様々な課題は残ったものの、初めての取り組みに準備段階から会話が弾み、「こんなことがしたい」と張り切る評議員の素敵な笑顔。

次回は、曜日・時間・内容を検討して今回参加出来なかった方々も「集まりたい」「参加したい」と思っている企画を考えたいと思います。溢れるアイデアを皆で話し合うことを大切にしながら…。宣教司牧評議会 マリア 大石和枝

舞鶴小学校2年生の訪問

10月29日(火)に、



舞鶴小学校2年生15名と2人の先生が教会を訪問しました。校区にある大名町教会はどんなところか、どんなことをしているのか、小学生は興味津々。

笑顔で迎えた中村神父様は、教会の歴史、神父の仕事やミサについてわかりやすく説明しました。子どもたちの質問は「あの人は(十字架のイエス様)だれ?」と続きました。「正しいことは行い、悪かったと思ったら神様と友達に勇気を出してごめんなさいと言いましよう」と神父様のわかりやすい言葉

に、子どもたちは静かに聞き、書きとっていました。3階のパイプオルガンとステンドグラスに



大名町教会の現勢 10月

【転入】ようこそ(教区・教会から)

- ・ヨセフ 篠原 太一
 - ・マリア 篠原 麻利子
 - ・テレサ 篠原 麻由(福岡・笹丘)
 - ・ヨセフ 井上 智喜
 - ・マリア 井上 宏美
 - ・ペトロ 井上 綸
 - ・パウロ 井上 練(福岡・笹丘)
 - ・ステラ チャン・ジヒョン
 - ・ピオ ジョン・ピオ
 - ・ピア ジョン・ピア(韓国)
- 【転出】お元気で(教区・教会へ)
- ・マリア・テレジア 高寄 珠實

(東京・麹町)

【帰天】永遠の安息を祈ります

- 10月2日
- ・ペトロ 永田 光武
- 10月13日
- ・マリア 武田 ミヨ子
- 10月28日
- ・マグダレナ 平田 サナ

見入っていた子どもたち。神父様は、ステンドグラスはイエス様の生涯を表していること、赤ちゃんのステンドグラスに、その日がクリスマスであること、西暦はその時をゼロ年にしてのこと、イエス様は十字架につけられたけれど、復活したことなど話しました。子どもたちから「きれい」「お話しなんだ」「また来たい」「いつ来てもいい?」との声がありました。

感謝

お元気で
シスター小野さと子

礼拝会のシスター小野さと子様は東京に異動されました。大名町教会の1階受付で、訪れた人に教会の案内をしたり、イエス様の教えを語ったり、相談にのったりと、長く奉仕していただきました。ありがとうございました。ご健康とご活躍をお祈りします。



カトリック大名町教会の新しい表示板

・新天町方面からも、赤坂方面からも、「ここがカトリック大名町教会です」と分かるように、教会建物の壁面、柱に表示しました。



